

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ONE TRY				公表日	2025年 1月 8日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	・子どもたちが安全に楽しく活動できるように配慮しています。	・スペースに関しては1人に対して、必要なスペースは確保しております。今後も子ども達がより利用しやすい環境を整えていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・職員に関しては、多くの人員配置を行っています。	・子ども達に対し、よりよい支援を行うために法令で必要とされる人数を配置してまいります。また、新規入職した職員の紹介などを保護者様に行っていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	・バリアフリーには対応しています。また、子ども達に合わせてその都度工夫、改善を行い過ごしやすい環境を整えています。	・今後も子ども達一人一人に合わせた、過ごしやすい環境作りを行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3	・毎日清掃・消毒を行い、清潔な空間を保てるよう徹底しています。	・今後も継続して、清潔な空間が保てるようにしていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6	2	・日々、療育内容や指導の在り方を共有・検討しています。	・今後も継続して実施していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	・毎日、支援の記録を行い、支援の改善が必要な場合は支援会議の場を設けています。	・今後も必要に応じて、実施していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	・第三者の方に依頼をし、業務体制を確認して頂いております。	・今後も定期的に第三者の方に来ていただき、施設の現状を見ていただきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	3	・事業所内での開催を企画しています。	・今後は外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めてまいります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	3	・日々の送迎時の申し送りや保護者面談を行いニーズを把握したり、日々のお子様の様子を記録し、個別支援計画を作成しています。	・今後は各家庭や関係機関と連携を取り、ニーズや課題の把握に努めていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	3	・児童発達支援管理責任者が原案を作成し、それを元に会議を行い、支援内容を設定しております。	・今後も支援内容が分かりやすいように記載することを心掛けていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	・支援に関して、個別支援計画書通りに全職員で確認し実施しております。	・今後も全職員で確認を行い、計画書に沿った支援を実施していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	4			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	・職員全員で話し合い、子ども達が楽しく色々な体験が出来るように考え、活動プログラムを作っています。	・毎月のプログラムについて職員全員で会議をし、より幅広いプログラムの立案を作成していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・療育時間が違いますので、子ども達が見通しを持って過ごせるように工夫しております。	・平日と休日・長期休暇においてはプログラムを変更し、活動を提供しています。特に、休日、長期休暇においては、外出活動など平日では取り組むことができない体験活動に積極的に取り組んでいます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	・毎日会議の場を設け、療育内容の確認・職員の役割分担を行っております。	・今後も徹底していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4	・翌日に職員間で課題があれば話し合いを行い共有し、解決を図っております。	・今後も職員間で共有をしっかりと行っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	3	・毎日、支援の記録を行い、支援の改善が必要な場合は支援会議の場を設けています。	・今後も必要に応じて、実施していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っております。	・今後も定期的に見直しを行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	2		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	3	・毎月、代表・管理者による会議を開催し、連携を図っております。	・今後も定期的に会議の場を設けていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	6	・現在医療的ケアが必要な子供はおりませんが、地域・学校とその都度連携を図っております。	・必要に応じて、地域・学校とその都度連携をしていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	7	・主に児童発達支援管理者・代表・管理者で行っております。	・今後も円滑な移行支援の為に情報共有を行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	5	・卒業生となる子がいませんでしたが、連携は行っております。	・今後も、子供たちの状況に応じて、各関係機関と連携を取っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5	・研修には、職員全員に積極的に参加するように伝達しております。	・今後も職員全員に研修の情報を共有し、積極的に参加するように伝えていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	・地域で開催されたお祭り等に参加しました。また、トライやるウィークの受け入れを行い、地域の中学生と関わる機会を設けました。	・地域の祭りや音楽祭・パルに参加をしていく予定です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	2	・連絡帳とLINE・送迎時の会話でお伝えしております。	・今後も日頃から子ども達の状況等をお伝えしていきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7	・今年度は実施出来ませんでした。	・ペアレントトレーニングには今後力を入れていきたいと感じています。また、事業所内外で研修会を多く開き、保護者様の支援につながるようにしていきます。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	・契約の際に説明しております。また、支援内容に関しては日々の連絡帳やラインを使い、行っております。	・今後も丁寧な説明を心掛けていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	・児童発達支援管理者が主に説明を行い、ご理解を頂けるようにしております。	・今後も分かりやすく丁寧に説明する事を心がけてまいります。また、制度や支援について相談していただける事を周知出来るよう努めます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	・相談を受けた際には、児童発達支援管理者が中心となり、職員間で話し合い、対応しております。	・今後も相談を受けた際には適切な対応、助言を行ってまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5	・今年度は実施出来ませんでした。	・今後も定期的に保護者会等を開催し、情報の共有や保護者様同士の連携を支援してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	2	・苦情などがありましたら、職員全員で解決案を出し、対応しております。	・今後もより一層多くのケースを想定した会議を行い、苦情の対象にならぬよう体制を整えるとともに、苦情の解決方法などもより良い形を模索します。 ・今後は迅速に対応させていただき、報告が出来るように行なっていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	3	・行事予定表には、日々の活動内容を記載しております。また、月に2回HPの方のブログを更新して活動内容等の発信をしております。	・今後も皆様に伝わりやすい形で、情報を発信していきたいと思っております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	・個人情報には細心の注意を払い情報漏洩なきようにしております。	・個人情報に関しては今後も細心の注意を払い取り扱います。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	・LINE・電話・紙ベースなどで伝達し、状況に応じて理解しやすい形で情報をお伝えしております。	・LINEや電話・連絡帳などで行っていたものをより繊細に行い、相互理解を今後も高めていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	・地域の催しの際に、会社全体でスタンプラリーや屋台の出店を行いました。	・今後も会社全体として催しを企画し、地域の方との交流を持つ機会を作っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・各マニュアルを作っており、職員間で周知徹底をしております。	・保護者の方にも周知して頂けるように、定期的に各マニュアルをお手紙等で配布致します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	・避難訓練などを行う際には、職員が避難場所の確認・避難時の役割分担などを考えて対応出来るようにしております。	・職員ミーティングの際、避難訓練を行ったり、防災に関する外部研修がある際は職員が参加していきます。 ・訓練を行った際には、HPに掲載するなど保護者様に実施の様子をご確認していただけるようにしていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	3		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	・食物アレルギーに関しては、会議とおやつケースに記載し全職員が見える状況にして、誤って事故が起きないようにしております。	・今後も職員間で情報の共有を行い、アレルギーに対しての問題にも怠ることなく対応してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	4		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2	・ヒヤリハットなど、毎日の会議で話し合いを行い、全職員で共有します。	・ヒヤリハットに関しては、今後も多くの事例を例題にして全職員から意見を求め支援の方法や対応の方向性の一致を図ります。

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	2	・虐待に関しては、会議の際に検討を行い、職員の研修を行っております。	・今後も外部の研修に職員が参加したり、内部研修行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	3	・個別支援計画書に記載し、事前に保護者様に説明を行っております。	・拘束する場合がないような支援を目指しますが、やむを得ない場合も確実に保護者様との情報共有を行った後に実施いたします。